

清泉女子大学におけるIR業務

平成28年度第1回IR初級人材研修会

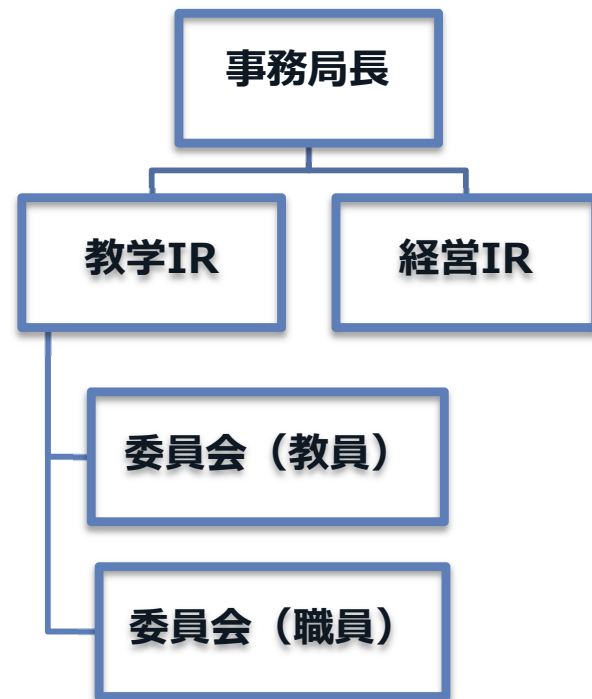
白石哲也（清泉女子大学）

t-shiro@seisen-u.ac.jp



清泉女子大学の概要とIR

- 開設年：1935（昭和10）年 清泉寮開学
- 建学の精神：キリスト教ヒューマニズム
- キャンパス：品川キャンパス（1学部5学科1研究科）
- 学生数：大学（1,906名）、大学院（26名）



清泉女子大学のIR組織概要



目次：

清泉女子大学におけるIR業務

1. 事例①：キャリア支援の効果検証
2. 事例②：学生満足度の調査
3. まとめ

1. キャリア支援の効果検証



キャリア支援の効果検証におけるリサーチ・フロー

リクエスト

- 就職支援が役立っているのかを知りたい！

調査設計

- 卒業生を対象としたアンケート調査の実施
- Webアンケートの実施（方法、時期、アドレス取得など）

収集

- アドレスのテキスト化、アンケート構築、就職課保有データの取得

結果報告

- 就職課への報告及び学内関連委員会
- アンケートの継続実施（IR）、支援強化の検討（就職課）

就職率を上げるために、いろいろな支援をしてが、果たして効果が上がっているのだろうか？
効果・検証したいけど、毎日、面談やイベントがあつてなかなか時間もが取れないし。

そういえば、IRがあるんだから、お願いすればいいのか！



IR

リクエスト

就職課

調査設計

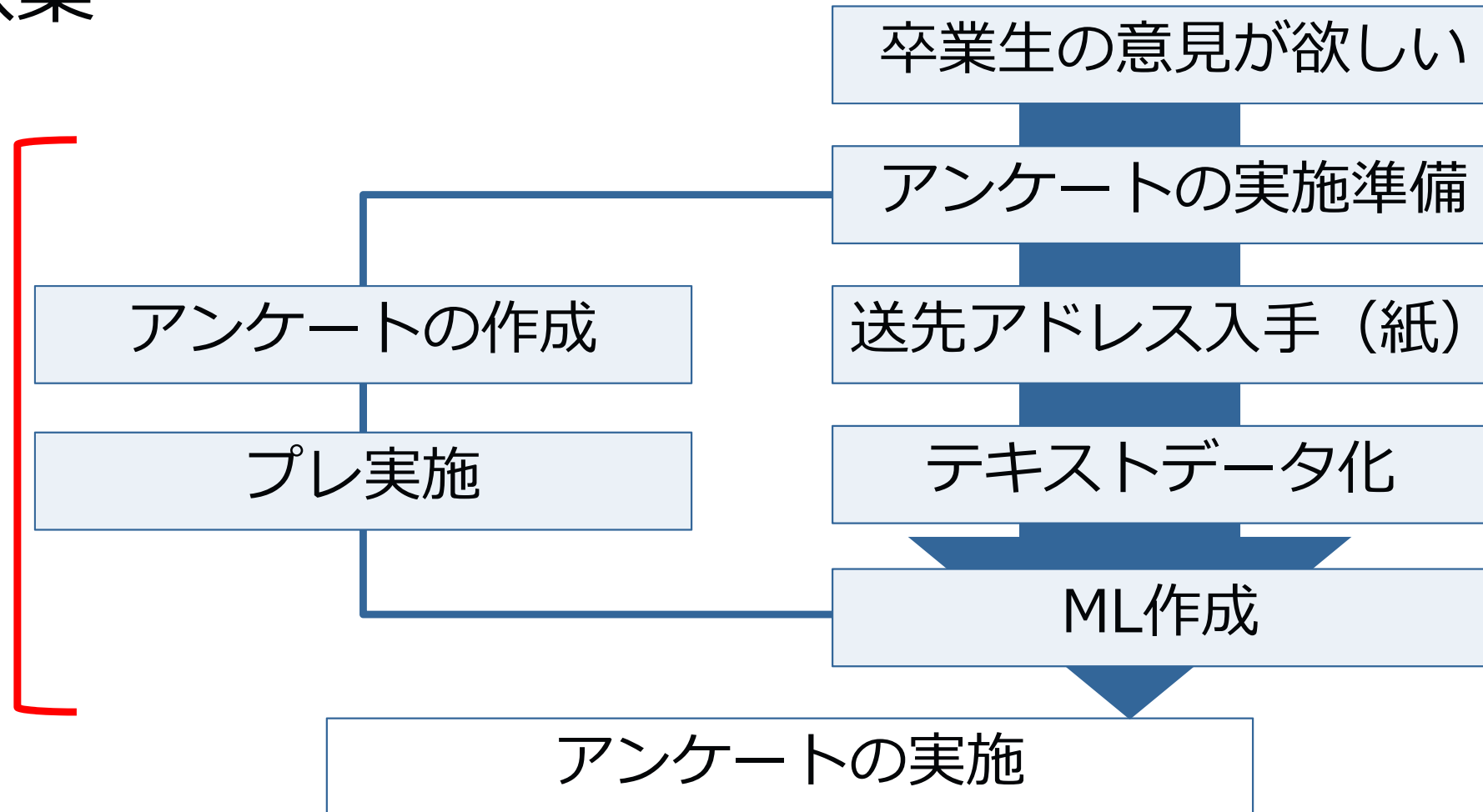
リサーチ・デザイン

①調査目的	②対象	③データ収集法	④期間	⑤分析
キャリア支援の効果検証	卒業生	Webアンケート方式 (Google formを使用)	3ヶ月	単純集計

- ① 調査目的は明確
- ② 対象は卒業生がだが、メモリー・エフェクトなどを考慮して卒後1～5年以内に対象設定。当然、就職した卒業生限定。
- ③ コストや構築を考慮して、Webアンケートに決定
- ④ 期間は、リクエスト～報告までで3ヶ月が目安とした
- ⑤ 匿名式アンケートであり、設問数も精選した結果、単純集計のみとした



収集

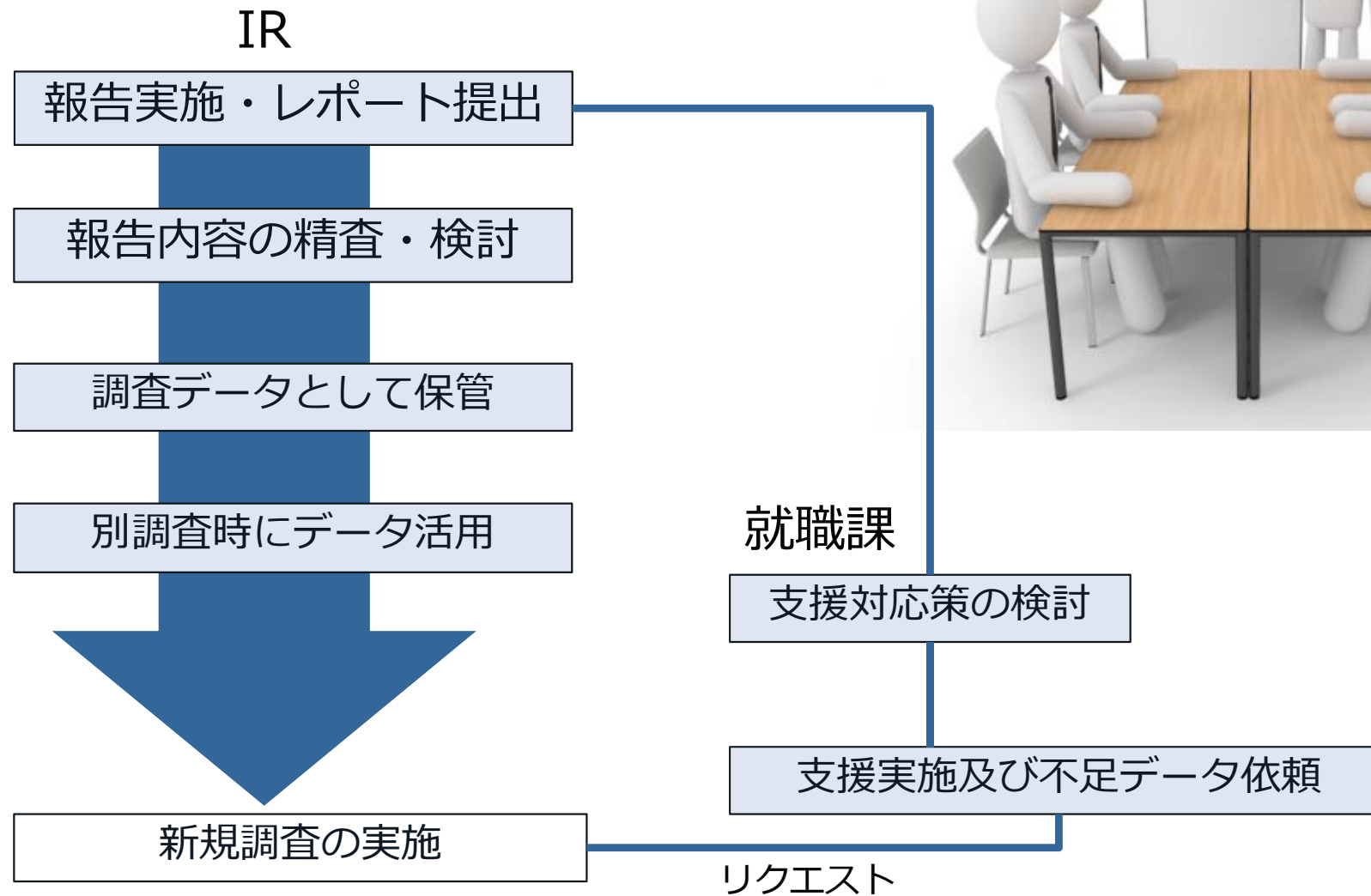


集計

実際のデータをもとに、集計を試してみたいと思います



調査報告と対応



2. 学生満足度の調査事例

RQ：学生の大学に対する満足度について知りたい

学内状況：学内にIRの認知は広がり始めている

- ① すでに他部署に既存データが存在する（学内アンケート）
- ② IR分析を行う際の基礎データも揃っている
- ③ でも、**時間がない**（1週間後に報告レポート提出）



急な依頼にも応えるための日頃の準備

a. 学内データの所在と収集

- 学内のどこにどんなデータがあるのか、日頃から調べておく
- データカタログやデータベースがあると便利
- データの意味を覚えておく

b. ツール

- アンケート調査は紙？ Web？
- 探索的にやるならBIは便利
- 統計的検定（SPSS等）は最後までもいい（本当に必要かを考えておく）

3. まとめ

まとめ

➤ データの収集

方法1：基幹系データベースへのアクセス権限

方法2：他部署保管のデータ収集

方法3：新規データの収集（アンケート）など

➤ ツール

用途に応じて利用

Ex.BIツールなどは、探索的分析を行う際に活用

➤ 協働

他部署との協働が必要

➤ 小規模の特性を意識したIR



協働